

橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業

(継続)

担当 建設部
道路建設課

予算額		292,958				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	146,590	事業期間	令和3年度	全体事業費	292,958
		地方債	107,900	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
	一般財源		38,468	施策の内容	6 橋梁震災対策の推進		

事業の目的

橋梁の耐震性の向上を図り、災害時における緊急輸送路等を確保するとともに、長寿命化修繕計画に基づき、計画的かつ予防的な修繕を行うことで道路交通の安全性を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

耐震化予定の橋梁34橋のうち、20橋について落橋防止等を施工しました。
また、令和元年度に市管理の全240橋を対象とした橋梁長寿命化修繕計画を見直し、計画に基づき20橋の修繕工事を施工しました。

【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業概要	事業費
新川5号橋外2橋長寿命化詳細設計委託	22,550
新川5号橋上部工復元工事	13,200
東真鍋1号橋外2橋耐震補強・長寿命化修繕工事	182,600
常磐線3号橋(二番橋)架替JR工事委託外	74,608
計	292,958

【今後の予定】

令和4年度までに、24橋の耐震化工事及び32橋の修繕工事を計画しています。



国道六号8号橋 落橋防止施工後

期待される効果・成果目標等

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、道路交通の安全性と信頼を、将来にわたり確保することができます。

※令和2年度末進捗率(予定)：耐震対策事業 58.8% (20/34)，長寿命化修繕事業 8.3% (20/240)

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

道路新設改良事業 (継続)

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

予算額		550,000		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	100,000	事業期間	令和3年度
		地方債	387,500	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備
	一般財源		62,500	施策の内容	3 生活道路の整備及び管理
				全体事業費	550,000

事業の目的

幹線道路（Ⅰ級幹線，Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事，歩道整備や生活道路・狭隘な市道の拡幅工事，舗装工事，交通安全施設工事等を計画的に進めることにより，道路機能の向上と市全体の道路網確立を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

道路延長（令和元年度末現在） L = 1,527,034m（6,927路線）
うち改良済延長 L = 730,578m（改良率47.84%）

【今年度事業内容】

(単位：千円)

区分	概要	事業費
道路改良工事費	24路線 L = 2,730m	439,400
測量設計委託料	17路線 L = 2,538m	51,700
公有財産購入費	17路線	20,350
物件移転補償費	12路線	28,380
役務費	鑑定料，登記料	7,700
事務費等		2,470
計		550,000



整備前

整備後

市道真鍋29・30号線 整備状況

【今後の予定】

住みよいまちの実現の基礎となる生活道路の整備を計画的に進めていきます。

期待される効果・成果目標等

日常生活の利便性向上及び地域環境の改善を図るとともに，歩行者と自転車の安全を確保し，交通事故防止に寄与します。また，緊急車両等の通行を可能にし，市民の安全を守ります。

都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業

(継続)

担当 建設部
下水道課

予算額		65,000		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	38,825	事業期間	令和3年度	全体事業費	65,000
		地方債	15,100	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり		
		その他		施策名	5 雨水等による浸水被害に強いまちづくり		
	一般財源		11,075	施策の内容	2 都市下水路の整備		

事業の目的

都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、雨水を速やかに排除し、豪雨による道路冠水等を解消するとともに、生活環境の改善を図ります。

事業の概要

◎都市下水路整備事業

【これまでの経緯】 平成22年度から、西根竹の入都市下水路整備工事を実施しています。

【今年度事業内容】 ・西根竹の入都市下水路整備工事 L = 50m

※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用します。

【今後の予定】 西根竹の入都市下水路については、引き続き、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、年次計画により整備します。

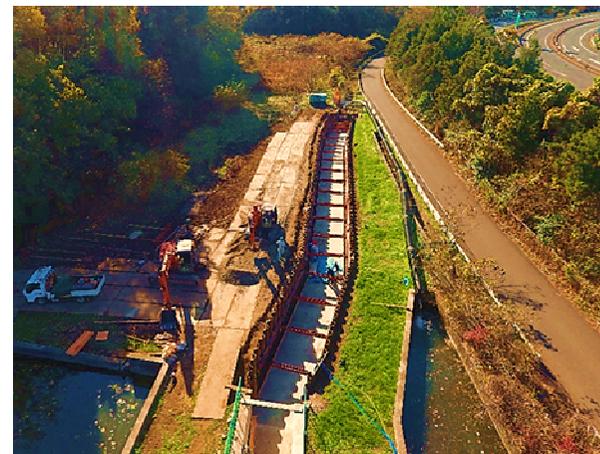
◎小規模排水路整備事業

【これまでの経緯】 田中三丁目・小松一丁目地内小規模排水路整備工事を実施しました。

【今年度事業内容】 虫掛地内小規模排水路実施設計委託 L = 400m

中荒川沖町地内小規模排水路実施設計委託 L = 65m

【今後の予定】 今後も引き続き、浸水対策の一環として整備を行っていきます。



西根竹の入都市下水路整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

地域公共交通確保維持改善事業 (継続)

担当	都市政策部 都市計画課
----	----------------

予算額		24,169		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	事業期間	令和3年度	全体事業費	24,169
	国県支出金	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
	地方債	施策名	4 人と環境にやさしい公共交通体系の構築		
	その他	施策の内容	1 公共交通網の形成		
	一般財源		24,169		

事業の目的
 地域公共交通網形成計画に基づき、まちづくりと連携した、各公共交通が相互に補完し合うネットワークの構築を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】
 平成29年3月 土浦市地域公共交通網形成計画策定
 平成29年4月～ 地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施
 (公共交通マップ、マイ時刻表サービス、隣接市町の協議会参加)

土浦市地域公共交通活性化協議会の様子 つちうら公共交通マップ
 (単位：千円)

【今年度事業内容】
 地域公共交通運行事業として、新たなコミュニティ交通の試験運行を実施するとともに、今回実施する試験運行を検証しながら、その地域に適した、利用しやすい分かりやすい公共交通の導入及び改善を図ります。

概要	事業費
協議会負担金(地域公共交通運行事業、地域公共交通計画策定など)	17,299
バス運行対策費負担金	2,905
霞ヶ浦広域バス・千代田神立ライン運行補助金	2,865
バス路線運行方策検討調査	1,100
合 計	24,169

【今後の予定】
 地域公共交通網形成計画の成果を踏まえた新規計画を策定するとともに、市全体の公共交通ネットワークについては、公共交通不便地域の解消を図るために、コミュニティ交通の導入拡大に向け、検討を進めます。

期待される効果・成果目標等
 各公共交通の機能分担と連携強化、公共交通環境の整備による利用促進、既存の公共交通の確保維持を図るとともに、バス路線の運行方策を検討していくことで、誰もが利用しやすい持続可能な公共交通網の実現に寄与します。

土浦北インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業 (継続)

担当 商工観光課・都市整備課

予算額		40,058		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和3年度
		地方債		施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり
		その他		施策名	5 生活拠点となるコンパクトな市街地の整備
	一般財源	40,058	施策の内容	3 インターチェンジ周辺地区の整備	全体事業費

事業の目的

流通拠点である土浦北インターチェンジ周辺地区を、広域交通ネットワークを活かした産業発展を促す拠点として適切な土地利用の誘導を行うことにより、民間事業所等の立地促進を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

産業用地の創出が可能と考えられる候補地の検討を行いました。

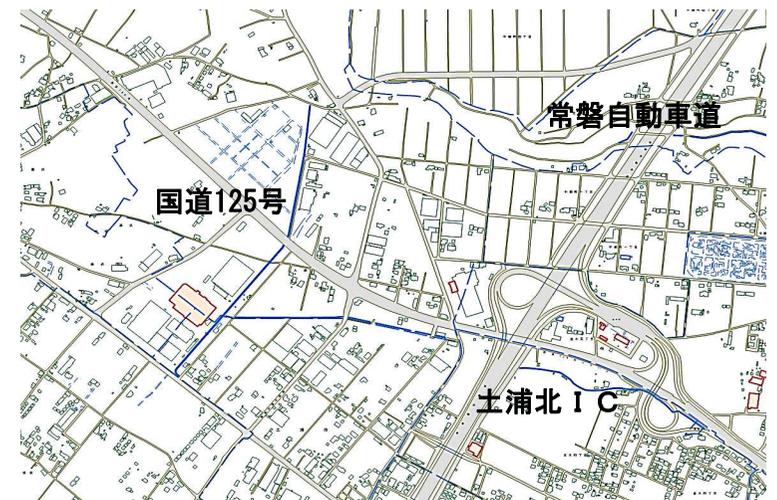
【今年度事業内容】

各候補地の基本条件を整理し、まちづくりの基本構想及び事業化の可能性を検討するための基礎資料の作成を進めます。

また、立地企業の行うインフラ整備の費用の一部を助成します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費等	事務費 (旅費・通信運搬費等)	158
委託料	産業用地可能性検討調査委託	9,900
負担金補助及び交付金	企業立地促進補助金	30,000
計		40,058



土浦北インターチェンジ周辺図

【今後の予定】

適正な土地利用の誘導を図り、産業発展を促す拠点整備を推進します。

期待される効果・成果目標等

土浦北インターチェンジ周辺地区の土地利用の誘導により、民間事業所等の立地促進を図ることで、地域経済の活性化や雇用の場の創出など、多くの経済効果が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

スマートインターチェンジ設置可能性検討事業 (継続)

担当	都市政策部 都市計画課
----	----------------

予算額		13,900	(単位：千円)
財 源 内 訳	特定財源		
	国県支出金		事業期間 令和2年度～令和3年度
	地方債		全体事業費 19,700
	その他		施策の大綱 2-6 快適でゆとりのあるまちづくり
	一般財源	13,900	施策名 2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備
			施策の内容 2 都市計画道路等の整備

事業の目的
 スマートインターチェンジは、地域生活の充実や地域経済活性化が期待できることから、その整備可能性について検討します。

事業の概要

【これまでの経緯】
 スマートインターチェンジ設置の必要性や設置候補箇所について検討を行うとともに、国・県等の関係機関と協議を実施しました。

【今年度事業内容】
 令和2年度の検討結果を踏まえ、スマートインターチェンジを利用する車両台数の推計や、整備効果の検討を行います。

(単位：千円)

概 要	事業費
スマートIC設置可能性調査委託料	13,900
計	13,900

【今後の予定】
 検証結果を踏まえ、事業化に向けて国・県等の関係機関と協議を行い、検討を進めます。

期待される効果・成果目標等
 スマートインターチェンジは、渋滞緩和、地域経済の活性化や観光振興など、多くの整備効果が期待されます。スマートインターチェンジ設置可能性検討調査を実施することで、事業実施に向けた国の新規事業化や許可を取得するための、関係機関との協議資料及び検証結果が得られます。

神立駅西口地区土地区画整理事業

(継続)

担当 都市政策部
都市整備課

予算額		193,625			(単位：千円)	
財源内訳	特定財源		事業期間	平成24年度～令和4年度	全体事業費	5,550,000
	国県支出金		施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
	地方債	145,100	施策名	5 生活拠点となるコンパクトな市街地の整備		
	その他		施策の内容	1 神立駅周辺地区の整備		
	一般財源	48,525				

事業の目的

かすみがうら市と一部事務組合を設立し、神立駅周辺地区において、土地区画整理事業等により西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- 平成30年度 区画整理 第2工区, 新駅舎・自由通路 完成
- 令和元年度 区画整理 第3工区, 第4工区, 第5工区, 神立停車場線暫定供用
- 令和2年度 区画整理 第6工区, 第7工区, 第8工区

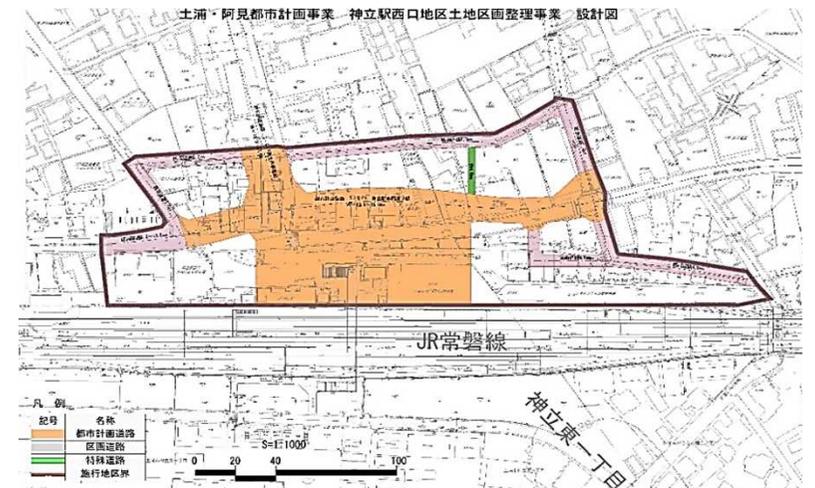
【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
土地区画整理事業負担金 (駅前広場工事等)	161,389
事務費・派遣職員人件費	32,236
計	193,625

【今後の予定】

令和4年度 駅前広場整備工事, 換地処分, 清算



区画整理事業 設計図

期待される効果・成果目標等

駅前広場, 駅前西通り線, 神立停車場線等の都市施設を一体的に整備することにより, 本市の北の拠点としてふさわしい市街地が形成されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

常名虫掛線街路事業

(継続)

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

予算額		38,080		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成4年度～令和10年度
		地方債	10,700	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備
	一般財源		27,380	施策の内容	2 都市計画道路等の整備
		全体事業費	3,000,000		

事業の目的

中心市街地と並木地区を結ぶ交通ネットワーク構築による周辺地域の活性化や、暮らしやすさの向上及び運動公園アクセスの向上並びに周辺自治体との観光ネットワーク強化を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和2年10月8日に新たに供用開始し、市道認定区間1,435mについては、暫定線形を含めて、整備が完了しました。

令和2年度は、交差点改良工事、交通量調査、境界復元測量を実施しました。

【今年度事業内容】

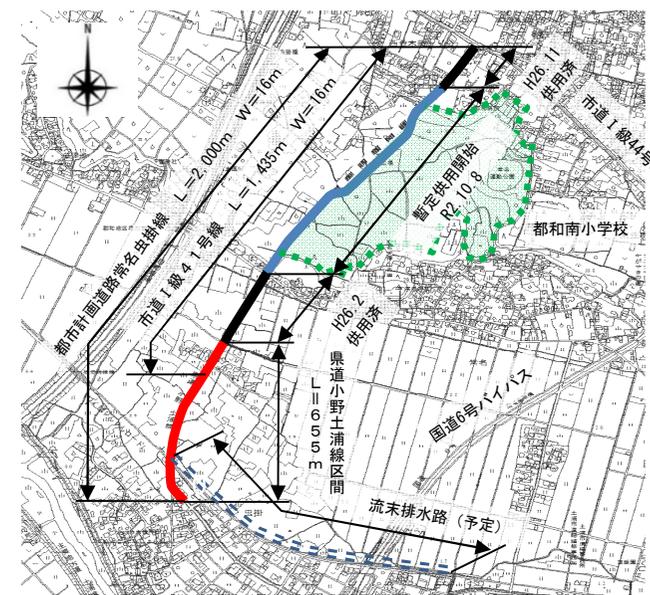
令和3年度は、県道小野土浦線区間及び流末排水路の詳細設計や用地測量等を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	詳細設計, 用地測量等	35,480
工事請負費	付帯工事費	2,600
計		38,080

【今後の予定】

令和10年度末の事業完了を目指します。



常名虫掛線街路事業 事業範囲

期待される効果・成果目標等

新たな南北軸としての交通ネットワークが構築され、新治地区から市街地への観光客の誘導、また、周辺自治体との観光交流の促進につながります。

荒川沖木田余線（I期）整備事業

（継続）

担当 建設部
道路建設課

予算額		217,800				（単位：千円）	
財源内訳	特定財源	国県支出金	117,700	事業期間	平成26年度～令和4年度	全体事業費	1,300,453
		地方債	89,000	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
		一般財源	11,100	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

国道354号から都市計画道路真鍋神林線までの3車線区間（I期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和2年度は、道路改良工事及び用地買収等を実施しました。

【今年度事業内容】

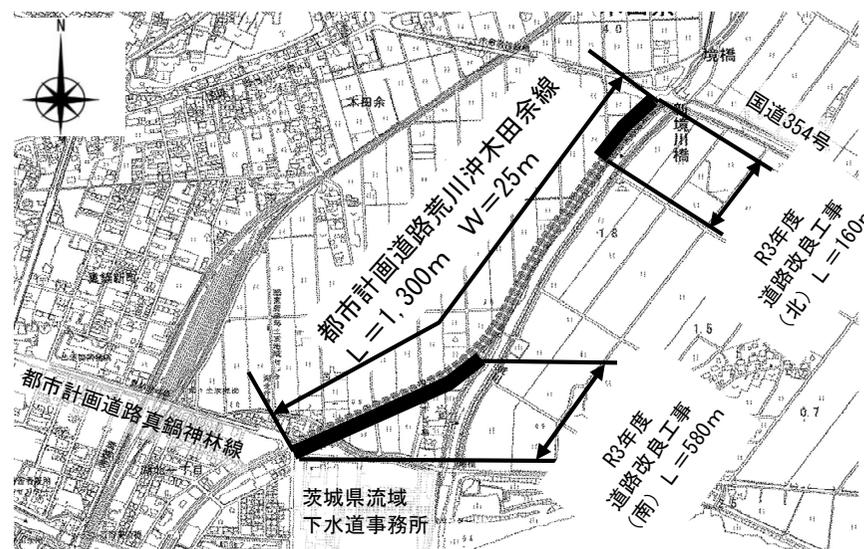
令和3年度は、道路改良工事及び補償移設等を実施します。

（単位：千円）

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	207,700
補償補填及び賠償金	物件補償（電柱移設）	9,000
委託料	草刈委託	900
需用費等	消耗品等	200
計		217,800

【今後の予定】

令和4年度末までの事業完了を目指します。



荒川沖木田余線（I期）整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

当該区間の4車線化により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、市街地の交通渋滞緩和及び安全性の向上が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

荒川沖木田余線（Ⅱ期）整備事業（新規）

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

予算額		59,500		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	26,595	事業期間	平成30年度～令和9年度
		地方債	29,500		全体事業費
		その他		施策の大綱	
		一般財源	3,405		施策名
				施策の内容	2 都市計画道路等の整備

事業の目的

都市計画道路真鍋神林線から県道土浦港線（県整備予定区間除く）までの3車線区間（Ⅱ期：L=630m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

事業の概要

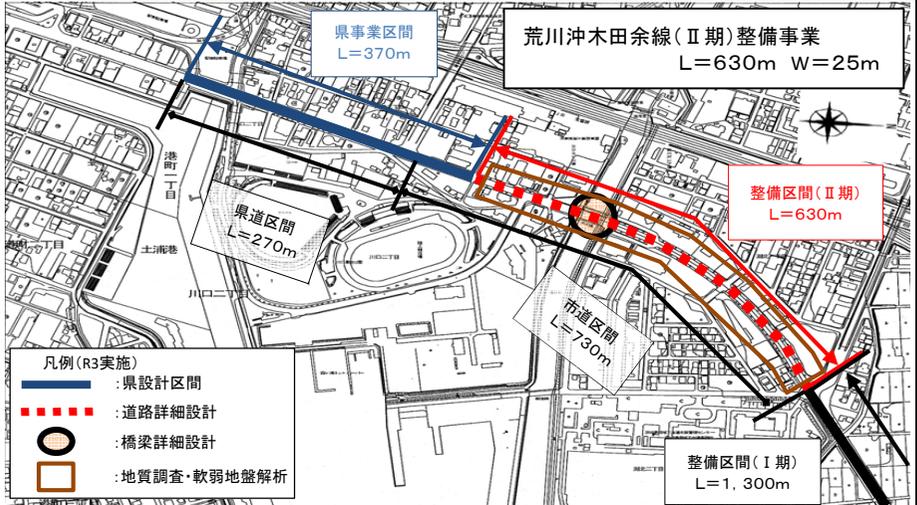
【これまでの経緯】
令和2年度は、道路予備設計及び橋梁予備設計を実施しました。

【今年度事業内容】
令和3年度は、道路詳細設計や橋梁詳細設計、地質調査等を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	道路・橋梁詳細設計，地質調査等	59,100
工事請負費	交通安全施設設置等	400
計		59,500

【今後の予定】
令和9年度末までの事業完了を目指します。



荒川沖木田余線（Ⅱ期）整備事業 事業範囲

期待される効果・成果目標等

交通渋滞の要因である3車線区間を4車線化することにより道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、通過交通の排除により、市街地の交通渋滞緩和及び安全性の向上が期待できます。

木田余神立線街路事業（Ⅱ期）

（継続）

担当 建設部
道路建設課

予算額		248,490				（単位：千円）	
財源内訳	特定財源	国県支出金	129,800	事業期間	平成24年度～令和7年度	全体事業費	850,151
		地方債	104,900	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
	一般財源		13,790	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

都市計画道路中貫白鳥線から北側の未整備区間を整備し、南北軸の道路ネットワーク強化を図るとともに、神立小学校の通学路として、児童の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和2年度は、用地買収及び物件補償等を実施しました。

【今年度事業内容】

令和3年度は、引き続き用地買収及び物件補償等を実施します。

（単位：千円）

区分	概要	事業費
補償補填及び賠償金	物件補償	186,000
公有財産購入費	用地買収	51,000
役務費	補償費算定等	9,548
工事請負費	付帯工事	1,452
委託料	草刈委託料	440
需要費	消耗品等	50
計		248,490

【今後の予定】

令和7年度末までの事業完了を目指します。



木田余神立線街路事業 事業範囲

期待される効果・成果目標等

歩行者・自転車の安全な通行帯が確保されるほか、近隣にある救急告示医療機関である神立病院、広域避難場所である神立公園へのアクセス向上が図られます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

まちなか定住促進支援事業 (継続)

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

予算額		16,800	(単位：千円)				
財 源 内 訳	特定財源	国県支出金	8,400	事業期間	平成26年度～令和5年度	全体事業費	85,814
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成		
		一般財源	8,400	施策の内容	2 まちなか居住の促進		

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、定住促進を図る支援制度を活用し、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】 (単位：件)

中心市街地活性化基本計画に基づき、平成26～令和2年度で家賃補助181件、購入補助81件を実施しました。(令和2年12月末までの実績)

年 度	家賃補助	購入補助	転用補助
平成26～30年度(第一期)	126	76	
令和元年度	29	5	0
令和2年度(12月末時点)	26	0	0
計	181	81	0

【今年度事業内容】

中心市街地内の定住促進を図るため、以下の事業を行います。

①まちなか賃貸住宅家賃補助 7,800千円 市外から中心市街地の賃貸住宅に住み替える世帯のうち、新婚又は子育て世帯に対し、家賃の1/2(上限2万円)を補助します。

②まちなか住宅購入補助 8,000千円 市外から中心市街地に住宅を新築又は購入して住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対し、住宅購入借入金の3%(上限50万円)を補助します。

③まちなか住宅転用補助 1,000千円 中心市街地の空きビル等を住宅へ用途変更する者に対し、その転用工事費の1/2(上限50万円)を補助します。

【今後の予定】

第二期中心市街地活性化基本計画の計画期間の令和5年度まで実施し、中心市街地への定住促進を図ります。

期待される効果・成果目標等

中心市街地への居住の集約を図り、中心市街地における活力とにぎわいのあるまちづくりに寄与します。

土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業

(継続)

担当 都市政策部
都市整備課

予算額		4,275		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和元年度～令和3年度	全体事業費	23,794
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成		
	一般財源		4,275	施策の内容	3 土浦駅東口地区のまちづくり		

事業の目的

土浦港周辺広域交流拠点基本計画に基づき、土浦港に隣接する川口二丁目の市有地に官民連携による観光拠点を整備することにより、中心市街地の活性化及びにぎわいの創出を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成30年度に市が先行整備を行った「りんりんポート土浦」の南側の市有地における民間事業者による誘客・集客施設等の整備可能性について、サウンディング型市場調査などの対話を行い、誘致に関する検討を進めてきました。

【今年度事業内容】

民間事業者の公募など、事業化に向けた手続きを進めます。

- ・ 民間事業者進出支援業務委託 3,564千円
- ・ 事務費等（報償費・旅費・需用費・役務費） 711千円

【今後の予定】

民間活力を導入して多くの方々が訪れる魅力ある空間を整備し、水辺のにぎわいづくりを進めます。



位置図

期待される効果・成果目標等

市有地の有効活用に民間活力を導入することにより、効果的な中心市街地の活性化及びにぎわいの創出に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

中心市街地まちなか再生調査事業 (新規)

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

予算額		9,000		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和3年度
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり
		その他		施策名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成
	一般財源	9,000	施策の内容	4 中心市街地活性化施策の推進	全体事業費

事業の目的

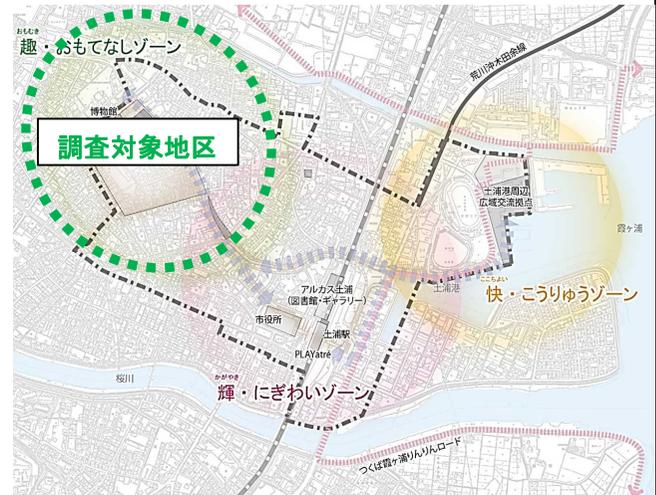
中心市街地活性化基本計画の中で「趣（おもむき）・おもてなしゾーン」として位置づけている中央地区において、歴史資産の活用や市街地整備の促進による都市機能の更新など、地域特性を活かしたまちづくり施策の検討を行うことにより、地区全体の活性化を目指します。

事業の概要

【今年度事業内容】
 亀城公園周辺を含めた中央地区の現状や課題、優位性等を分析した上で、当該地区におけるまちづくりの方向性、事業モデルの検討等を行います。

- ・ 中心市街地まちなか再生調査委託 9,000千円

【今後の予定】
 調査の結果を踏まえ、地区の活性化に寄与する事業についての検討を進めていきます。



位置図

期待される効果・成果目標等

中央地区の地域特性である、亀城公園を中心とした歴史的環境を活かしたまちづくり施策の展開により、当該地区の活性化に加えて、中心市街地全体への波及効果が期待されます。

常備消防車両更新事業

(新規)

担当 消防本部
消防総務課

予算額		104,445				(単位：千円)		
財源内訳	特定財源	国県支出金	31,033	事業期間	令和3年度		全体事業費	104,445
		地方債	70,700	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり			
		その他		施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急体制の充実			
	一般財源		2,712	施策の内容	1 消防力の充実			

事業の目的

性能の劣化している消防車両の更新整備を行い、市民の生命と財産を守る消防力の維持・強化に努めます。

事業の概要

【今年度事業内容】

令和3年度は、土浦消防署配置 水槽付ポンプ自動車8,000ℓ（水-II型），神立消防署配置 消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新します。

(単位：千円)

区分	事業費
旅費	98
役務費	101
備品購入費	104,000
公課費	246
合計	104,445



土浦消防署配置



神立消防署配置

【今後の予定】

計画的に消防車両を更新し、消防力の充実を図ります。

期待される効果・成果目標等

消防車両を更新整備することにより、市民の生命と財産を守る消防・救急体制の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

就学前教育推進事業 (継続)

担当	教育委員会 生涯学習課
----	----------------

予算額		4,562				(単位：千円)
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	令和3年度	全体事業費	4,562
		地方債	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他	施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
	一般財源	4,562	施策の内容	1 幼児期の教育の推進		

事業の目的

幼児期から児童期にかけては、育ちと学びの基礎力を培う大切な時期であり、互いの教育を見通し、連続性・一貫性のある教育を行う必要があるため、「就学前教育・家庭教育」を推進し、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

就学前教育推進員2名を配置し、保育所（園）・幼稚園・認定こども園・小学校との連携を図るため、関係課による連絡調整会議及び各施設の代表者からなる保幼小連携協議会の開催及び保幼小接続カリキュラムの作成を行いました。

【今年度事業内容】

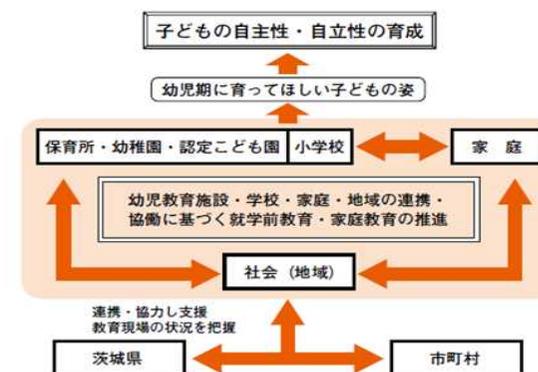
保幼小連携協議会を開催し幼児教育施設と小学校の連携を図るとともに、教師間の連絡等や作成した保幼小接続カリキュラムを試行します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報酬・手当等	主任就学前教育推進員 就学前教育推進員	4,398
講師謝礼等	保幼小接続研修会	164
計		4,562

【今後の予定】

保幼小連携の評価・改善及び接続カリキュラムの課題等の検証・見直しを行い、保幼小接続カリキュラムの本格実施・改善を図ります。



期待される効果・成果目標等

保育所（園）・幼稚園・認定こども園と小学校との連携や地域等との相互交流を図り、集団生活に必要な基本的な生活習慣や態度及び社会性を養う教育を行うことにより、子どもたちの自主性・自立性、規範意識などを育むことができます。また、保護者への啓発や学ぶ機会の提供など家庭教育に関する支援を推進することにより、家庭における教育力の向上に寄与します。

小学校／中学校空調機器整備事業

(継続)

担当 教育委員会
教育総務課

予算額		2,773				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度～令和3年度	全体事業費	745,614
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
	一般財源	2,773	施策の内容	9 学校施設やICT機器の整備・充実			

事業の目的

近年、猛暑日が増加していることから、温度と湿度の適正管理が不十分な環境となっている小中学校の給食配膳室及び特別教室に、年次計画で空調機を設置します。また、小中学校の職員室等の管理諸室で、故障している空調機を更新します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ◎小学校の給食配膳室に空調機を設置
- ◎小中学校の給食配膳室及び理科室等の教科別特別教室の空調機設置工事を令和2年度から令和3年度にかけて実施

令和2年度	配膳室	東小, 大岩田小, 荒川沖小, 中村小, 第二小, 上大津東小, 神立小, 右廻小, 乙戸小, 菅谷小 (小学校10校)
令和2年度	配膳室	下高津小, 真鍋小, 都和南小 (小学校3校) 第四中, 第六中, 都和中, 新治学園 (中学校4校)
令和3年度	特別教室	下高津小, 東小, 大岩田小, 真鍋小, 荒川沖小, 中村小, 第二小, 上大津東小, 神立小, 右廻小, 都和南小, 乙戸小, 菅谷小 (小学校13校) 第一中, 第二中, 第三中, 第四中, 第五中, 第六中, 都和中, 新治学園 (中学校8校)

【今年度事業内容】

- ◎給食配膳室の空調機が、未設置の中学校へ設置
- ◎小中学校の管理諸室の空調機を更新

【今後の予定】

- ◎職員室等の管理諸室で、老朽化により故障している空調機を年次計画で更新します。

		対象校	概要	事業費
配膳室	中学校4校 第一中, 第二中, 第三中, 第五中		・配膳室への空調機器設置 ・上記設置に伴う, コンセント設置等の付帯電気工事	941
管理諸室	小学校2校 大岩田小 (職員室), 第二小 (校長室)		・故障している管理諸室の空調機器の更新	1,312
	中学校1校 第二中 (校長室)			520
合 計				2,773

期待される効果・成果目標等

給食配膳室の温度と湿度の適正管理により、児童・生徒への安心・安全な給食提供に寄与します。また、管理諸室や教科別特別教室への空調機設置により、児童・生徒の教育環境の充実に寄与します。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

上大津地区統合小学校整備事業 (継続)

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

予算額		8,076	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成29年度～令和9年度	全体事業費	8,076
		地方債	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他	施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
		一般財源	8,076	施策の内容	10 小学校の適正配置	

事業の目的
 児童数が減少し、学級数が適正規模に満たない小学校がある上大津地区について、令和2年11月に策定された「上大津地区小学校適正配置実施計画」に基づき、上大津地区に統合小学校を建設します。

事業の概要

【これまでの経緯】
 平成29年度～令和2年度

- ◎上大津地区小学校適正配置検討委員会の設置及び開催（平成29年度から7回開催）
- ◎上大津地区小学校の保護者及び地域住民説明会の開催（平成29年度から延べ22回開催）
- ◎上大津地区小学校適正配置実施計画の中間提言（平成30年11月）
- ◎中間提言に基づき、上大津西小学校を菅谷小学校に暫定的に統合（令和2年4月1日）
- ◎上大津地区小学校適正配置実施計画の最終提言（令和2年7月）
- ◎「上大津地区小学校適正配置実施計画」の策定（令和2年11月）

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	新校舎建設の検討委員会及びワークショップ	434
需用費	消耗品等	30
委託料	整備基本計画の策定	7,612
合計		8,076

【今年度事業内容】

- ◎統合小学校建設の整備基本計画の策定
- ◎統合小学校建設の検討委員会・ワークショップの設置及び開催

【今後の予定】
 ◎策定された「上大津地区小学校適正配置実施計画」に基づき、令和9年4月までの開校を目標に統合小学校を建設します。

期待される効果・成果目標等
 統合小学校を建設することにより教育環境が整備され、学級数が適正規模になることで、集団の中での社会性の育成など、児童の教育環境の充実が図られます。

G I G Aスクール構想推進事業

(新規)

担当 教育委員会
学務課・指導課

予算額		52,958		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和3年度～令和7年度
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実
	一般財源	52,958	施策の内容	9 学校施設やICT機器の整備・充実	
		全体事業費	264,790		

事業の目的

国のG I G Aスクール構想に基づき、市立小・中学校及び義務教育学校の児童生徒に対して1人1台の端末及びICT環境を整備することで、個々の子どもの状況に応じて最適で効果的な学びを支援し、また、長期の臨時休業中における学びについても保障します。

事業の概要

【今年度事業内容】

情報活用能力が学習の基盤となる資質・能力と位置付けられ、ICTを積極的に活用した新しい教育が求められていることから、1人1台の端末等を整備し、全ての児童生徒に創造性を育む教育や適切な学びを推進します。

区分	概要	事業費
(小学校費) 使用料及び賃借料	6,071台 (内、補助分4,491台)	35,083
(中学校費) 使用料及び賃借料	3,173台 (内、補助分2,321台)	17,875
合計	9,244台 (内、補助分6,812台)	52,958

(単位：千円)



プログラミング発表会の風景

【今後の予定】

市立小・中学校及び義務教育学校に完備した電子黒板との連動や学習者用デジタル教科書などの導入も視野に入れた学習活動の充実を図ります。

期待される効果・成果目標等

学習ソフトを活用した情報活用能力の向上や、地域の問題をグローバルな視点で解決するグローバル教育の推進が期待できます。
また、長期の臨時休業時には、希望者に学習用端末やWi-Fiルーターを貸し出すことで、家庭でのオンライン学習の充実が図られます。

款	教育費	項	小学校費・中学校費
---	-----	---	-----------

小学校／中学校長寿命化改良事業 (新規)

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

予算額		23,645	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	令和3年度	全体事業費	23,645
		地方債	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他	施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
		一般財源	23,645	施策の内容	9 学校施設やICT機器の整備・充実	

事業の目的

令和2年度に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保します。

事業の概要

【今年度事業内容】

令和3年度は、小学校1校、中学校1校に係る長寿命化改良工事の実施設計を行います。

(単位：千円)

対象校	概要	事業費
小学校：神立小学校 1. 特別教室棟 (S54築 41年経過) 2. 屋内運動場 (S54築 41年経過)	屋上防水, 外壁, 建具, 給排水, ガス及び電気設備等の長寿命化改良工事の実施設計 実施設計に伴い, 内外装の成形材に含まれるアスベスト含有調査	8,935 (設計) 416 (調査)
中学校：土浦第四中学校 1. 管理・普通・特別教室棟 (S57築 38年経過) 2. 管理・普通・特別教室棟 (S58築 37年経過)		13,878 (設計) 416 (調査)
合計		23,645

【今後の予定】

他の小中学校についても、順次、学校施設の長寿命化計画に基づき、年次計画で長寿命化改良工事の実施設計及び工事を行います。

期待される効果・成果目標等

長寿命化改良工事を行うことで、安全・安心で持続的な学校施設となり、児童・生徒の教育環境の維持・確保に寄与します。

小学校／中学校施設蛍光灯LED照明化事業

(新規)

担当 教育委員会
教育総務課

予算額		8,935		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和3年度～令和13年度	全体事業費	178,700
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
		一般財源	8,935	施策の内容	9 学校施設やICT機器の整備・充実		

事業の目的

学校施設の照明設備を蛍光灯からLED照明に改修することで、省エネ化による維持管理費及び二酸化炭素排出量の削減を図ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

小学校15校，中学校7校，義務教育学校（前期・後期）1校の学校施設の蛍光灯を譲渡権付き10年リースにてLED照明に改修します。

◎令和3年度事業費（上半期改修工事実施，下半期よりリース開始）

小学校：812,036円/月×6か月×1.1=5,359,438円≒5,360千円

中学校：528,148円/月×6か月×1.1=3,485,777円≒3,486千円

義務教育学校：13,472円/月×6か月×1.1=88,916円≒89千円

合計 8,935千円



平成27年度 改築工事実施
都和小学校 普通教室LED照明

期待される効果・成果目標等

学校施設の照明設備をLED照明に改修することで、現在の維持管理費を約30%の削減，二酸化炭素排出量を約60%の削減が見込まれます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

コミュニティ・スクール導入事業 (新規)

担当	教育委員会 指導課・生涯学習課
----	--------------------

予算額		234		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和3年度
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実
	一般財源	234	施策の内容	2 特色ある学校づくり	
		全体事業費	234		

事業の目的

コミュニティ・スクールとは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5」に規定された「学校運営協議会」を設置した学校のことで、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みであり、市内全ての公立小・中学校・義務教育学校への設置を目指します。

事業の概要

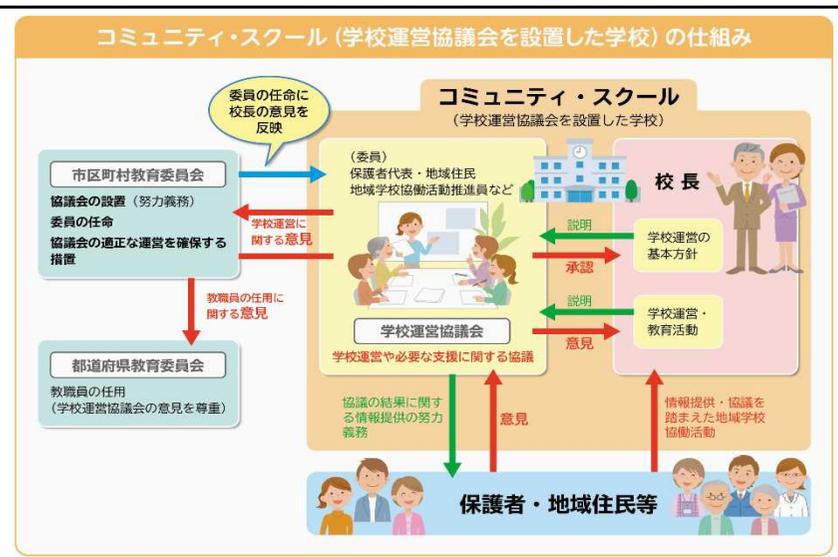
【今年度事業内容】

コミュニティ・スクールを推進するため、研究推進校（モデル校）1校を指定し、保護者・地域住民・学校長等を委員とした「(仮)コミュニティ・スクール推進委員会」を設置して導入に向けた検討・準備を行います。

委員謝礼：234千円

【今後の予定】

令和5年度を目標として、市内全ての公立小・中学校、義務教育学校への導入を目指します。



期待される効果・成果目標等

学校運営に地域の意見を積極的に反映させ、地域と一体となった特色ある学校づくりを進めていくことが期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

指定文化財等管理事業 (新規)

担当	教育委員会 文化振興課
----	----------------

予算額		2,409						(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	330	事業期間	令和3年度～令和5年度		全体事業費	8,215	
		地方債			施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり			
		その他				施策名			4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり
	一般財源	2,079	施策の内容	3 文化財の保護と活用					

事業の目的

平成30年4月の文化財保護法の改正により、文化財の保存や活用を総合的・計画的に推進するための枠組みが制度上位置づけられたことから、本市においても地域の文化財をまちづくりの核としてその継承に取り組み、計画的な保存活用の促進や文化財の保護を行います。

事業の概要

【今年度事業内容】

- ◎文化財保全活用地域計画の策定（令和3～5年度）
協議会の設立、未指定文化財の調査、市民アンケート調査等を行います。
- ◎市指定文化財「郁文館の正門」に自動火災報知器を設置します。

(単位：千円)

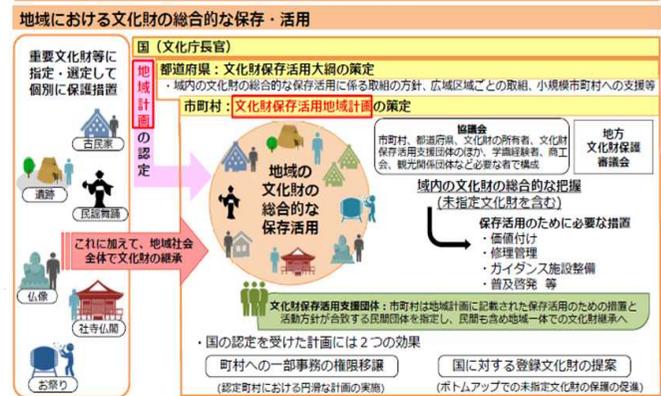
科目	概要	金額
報酬	調査参加者	220
報償費	計画協議会委員報償費等	411
旅費	文化庁協議等	143
需用費	消耗品	25
委託料	未指定建造物等調査	748
工事請負費	火災報知器設置	862
合計		2,409

【今後の予定】

- ◎「文化財保存活用地域計画」については、歴史を活かしたまちづくりを進めるため、令和4年度に計画編集を行い、令和5年上半期に国の認定を申請する予定です。

改正文化財保護法による文化財保存活用地域計画の認定について

過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題であり、未指定を含めた文化財をまちづくりの核とし、社会総がかりで、その継承に取り組んでいくことが必要。このため、地域における文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財保護行政の推進力の強化を図る。



国の認定を受けた文化財保存活用地域計画(令和2年2月14日現在 計9市町村 本日認定されたものは下欄)
北海道札幌市、茨城県牛久市、山梨県富士吉田市、長野県松本市、大阪府河内長野市、兵庫県豊岡市、奈良県王寺町、鳥取県益田市、長崎県平戸市

期待される効果・成果目標等

文化財の保存・活用について総合的な計画を立てることによって、市総合計画や関連諸計画と連携して、まちづくりや観光施策等に文化財を活かすことができるようになります。

また、防災設備の設置等を通して、文化財の適切な保全が図られます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

特別展・企画展事業(上高津貝塚ふるさと歴史の広場) (継続)

担当	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
----	----------------

予算額		998	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源		事業期間	令和3年度	全体事業費	998
	国県支出金		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
	地方債		施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり		
	その他		施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実		
	一般財源	998				

事業の目的

本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を特別展や企画展の展示を通して広く公開することで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、文化財保護に対する意識の醸成を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成7年度の開館以来、考古資料から本市の歴史を探る特別展や企画展を開催しています。 (単位：千円)

【今年度事業内容】

第24回企画展「(仮)縄文を楽しむ」

会 期： 令和3年10月中旬～令和3年12月上旬

内 容： 縄文土器は、その特異な造形から人々を引き付けてきました。それは、芸術家などにも強い影響を与えており、近年では、縄文造形をアートとして楽しむ人も増えています。展示では、学問とは別の視点から見た、縄文文化の楽しみ方を紹介します。

区 分	概 要	事業費
報償費	講演会講師謝礼	50
需用費	パンフレット印刷等	416
役務費	通信運搬費 筆耕料	470
その他	旅費 有料道路使用料	62
合 計		998



本市出土縄文土器

【今後の予定】

博物館と連携しながら開催し、調査研究成果の公開に努めます。

期待される効果・成果目標等

市民の埋蔵文化財への理解が深まるとともに、更なる文化財保護の機運が高まる契機となることが期待されます。

重要資料公開推進事業（博物館）

（継続）

担当 教育委員会
博物館

予算額		6,992		（単位：千円）		
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	令和3年度	全体事業費	6,992
		地方債	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他	施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり		
	一般財源	6,992	施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実		

事業の目的

特別展やテーマ展などの展示を通して、本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開・発信し、国宝や重要文化財など貴重な資料を身近に感じる機会をすることで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、地域文化への関心の向上を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

開館以来、特別展や企画展などで、本市の特徴を紹介しています。

【今年度事業内容】

◎第42回特別展「東城寺と『山ノ荘』—古代からのタイムカプセル，未来へ—」
令和3年3月20日（土）～令和3年5月5日（水・祝）

東城寺経塚群（茨城県指定文化財）から出土した経筒等が東京国立博物館より里帰りします。東城寺と山ノ荘の歴史・民俗を紹介します。

◎第43回特別展「八田知家と名族常陸小田氏（仮）」

令和4年3月19日（土）～令和4年5月8日（日）

本市を含む常陸国南部は、13世紀頃から常陸小田氏が支配していました。八田知家に始まる小田氏の歴史を紹介します。

【今後の予定】

◎特別展やテーマ展などの展示を通して、市民の歴史や文化財に対する興味を高めます。

◎上高津貝塚ふるさと歴史の広場と連携し、市外・県外からの集客も見込める企画を継続します。

（単位：千円）

区分	概要	事業費
報償費	講師・資料提供者謝礼	260
需用費	図録・ポスター等印刷	3,014
役務費	通信運搬費，筆耕料，撮影料	3,554
その他	旅費，会場使用料等	164
合計		6,992



小田天庵（氏治）
感状（個人所蔵）

期待される効果・成果目標等

本市の歴史や文化に関わる資料を調査研究し、その成果を公開することにより、市民の地域文化への理解が深まるとともに、文化財保護の機運が高まる契機となることが期待できます。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

新治運動公園整備修繕事業 (新規)

担当	教育委員会 スポーツ振興課
----	------------------

予算額		23,939				(単位：千円)
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	令和3年度	全体事業費	23,939
		地方債	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他	施策名	5 すべての市民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり		
		一般財源	23,939	施策の内容	2 スポーツ・レクリエーション施設の適正管理と利用促進	

事業の目的

新治運動公園多目的グラウンドの人工芝化を推進し、より快適なスポーツ環境の整備を図るとともに、現状の駐車場不足と、人工芝整備後の利用者増に対応するため、駐車場を増設することで利用者の利便性向上を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

◎令和2年度に多目的グラウンド人工芝整備手法等調査委託を行い、市の直接施工とリース方式について、ライフサイクルコストを含めた事業費の比較検討を行った結果、従来どおり市の直接施工により整備することとなりました。

【今年度事業内容】

- ◎多目的グラウンド人工芝化実施設計委託 21,038千円
- ◎駐車場実施設計委託 2,901千円

【今後の予定】

令和4年度から多目的グラウンド人工芝整備工事及び駐車場増設工事に着手し、令和5年度の供用開始に向けて事業を進めていきます。



新治運動公園

期待される効果・成果目標等

多目的グラウンドの人工芝化及び駐車場増設の整備を行うことにより、利用者の利便性の向上が図られます。